2019/12期第2四半期
決算説明資料



2019年8月20日

日本コンセプト株式会社

東証1部

9386

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

目次

Ⅰ 2019/12期決算第2Q決算の概要

Ⅱ 事業環境＆2019/12期通期決算の見通し

Ⅲ 中期経営計画の進捗状況

Ⅳ APPENDIX

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

I

2019/12期第2Q決算の概要

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2019/12期第2Q決算ハイライト

◆海外調達シフトを進める化学品メーカーの輸入取引の獲得に注力したことが貢献。一昨年スタートの高圧ガスビジネスも好調

1 2019/12期2Qは前年同期比で増収増益

- ✓売上高：過去最高更新
- ✓利　益：2ケタ増益

2 有利子負債を引き続き削減し、有利子負債依存度及び純有利子負債は着実に縮小

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2019/12期第2Q決算の概要

- 2019/12期第2Qの売上高は直近予想を上回る6,341百万円。前年同期比+410百万円と過去最高を更新
- 利益も前年同期比2ケタ増益。利益率も軒並み改善

(百万円)	2018/12期 上期	2018/12期 下期	2019/12期第2Q(上期)		直近予想との差異	前年同期比	増減率
			直近予想	実績			
売上高	5,931	6,234	6,213	**6,341**	**+128**	**+410**	**+6.9%**
売上総利益	1,582	1,816	1,719	1,740	**+20**	**+157**	**+10.0%**
営業利益	887	1,052	956	1,013	**+56**	**+126**	**+14.3%**
経常利益	878	1,035	938	997	**+58**	**+118**	**+13.5%**
親会社株主に帰属する四半期純利益	615	731	651	699	**+48**	**+84**	**+13.7%**
売上総利益率	26.7%	29.1%	27.7%	27.4%	**▲0.3pt**	**+0.7pt**	**–**
営業利益率	15.0%	16.9%	15.4%	16.0%	**+0.6pt**	**+1.0pt**	**–**
経常利益率	14.8%	16.6%	15.1%	15.7%	**+0.6pt**	**+0.9pt**	**–**
保有基数(期末)	7,523基	7,691基	–	7,903基	**–**	**+380基**	**+5.1%**
稼働率(期中平均)	78.7%	76.2%	–	75.6%	**–**	**▲3.1pt**	**–**
為替(対US$)	108.91円	112.15円	109.00円	110.51円	**1.51円安**	**1.6円安**	**1.5%安**

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

営業利益の増減要因

■ 高圧ガス事業の進展による増収効果が寄与

営業利益

8.87億円
(2018/12期2Q)

▶

10.13億円
(2019/12期2Q)

+1.26億円

① 売上総利益の増加：+1.57億円
- a. 増収効果：+1.09億円
- b. 粗利率改善：+0.48億円

✓ 高圧ガス事業が伸張
✓ 輸入取引の増加に伴う保管や加温等の原価が低い附帯サービスが増加

② 販管費増：▲0.31億円

✓ 人件費の増加

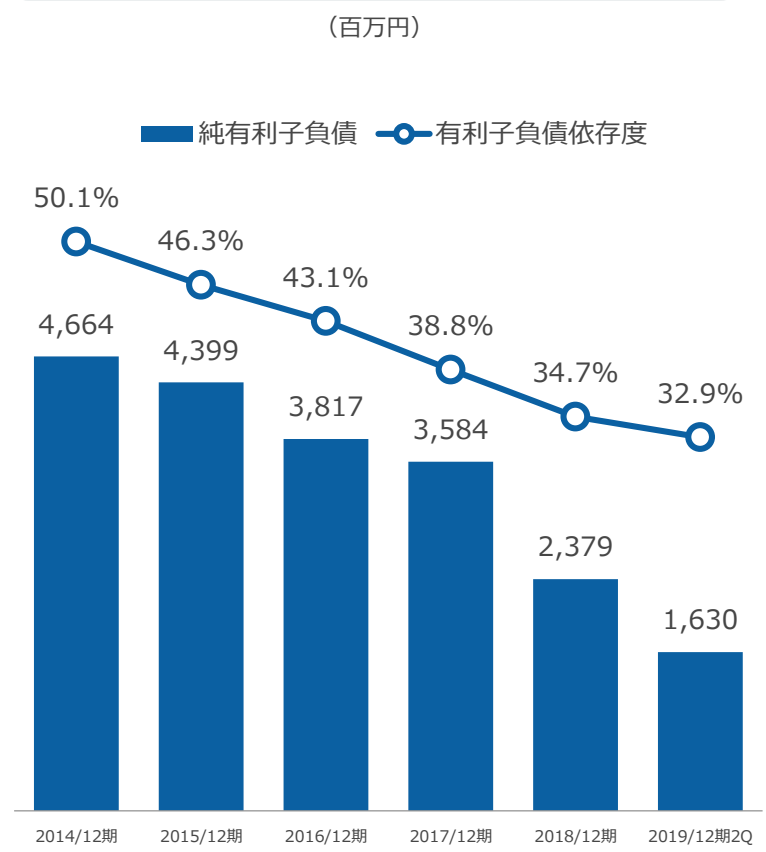
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

バランスシートの状況

■ 有利子負債の削減努力を継続していることから、有利子負債依存度及び純有利子負債ともに縮小、財務安定性は一層向上

(百万円)	2018/12期	2019/12期2Q	2018/12期比 増減額	2018/12期比 増減率
流動資産	5,711	**6,129**	+418	+7.3%
現預金	3,772	**4,321**	+548	+14.5%
売掛金	1,413	**1,432**	+18	+1.3%
固定資産	12,023	**11,971**	▲51	▲0.4%
タンクコンテナ	7,302	**7,335**	+32	+0.4%
総資産	17,734	**18,101**	+366	+2.1%
負債	7,843	**7,771**	▲72	▲0.9%
有利子負債	6,152	**5,951**	▲200	▲3.3%
純資産	9,891	**10,330**	+438	+4.4%
負債純資産合計	17,734	**18,101**	+366	+2.1%

有利子負債依存度等の推移



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

キャッシュフローの状況

■ 営業CFが大幅増加となった一方、有形固定資産取得等の投資CFの流出が縮小したことにより、FCFは前年同期比+135.8%（2倍超）に

(百万円)	2018/12期 上期	2018/12期 下期	**2019/12期 上期(2Q)**	前年同期比	
				増減額	増減率
営業CF	1,011	1,022	**1,500**	488	+48.3%
税金等調整前四半期純利益	878	1,034	**995**	117	+13.4%
減価償却費	495	511	**540**	44	+8.9%
投資CF	▲449	▲ 67	**▲174**	274	–
有形固定資産取得	▲427	▲46	**▲36**	390	–
FCF*	562	954	**1,326**	763	+135.8%
財務CF	842	▲ 1,008	**▲874**	▲ 1,716	–
有利子負債の返済等	▲20	▲ 796	**▲667**	▲ 647	–
株式発行による収入	1,068	–	**–**	▲ 1,068	–
配当金支払額	▲195	▲ 207	**▲206**	▲ 10	–

*FCF＝営業CF+投資CF

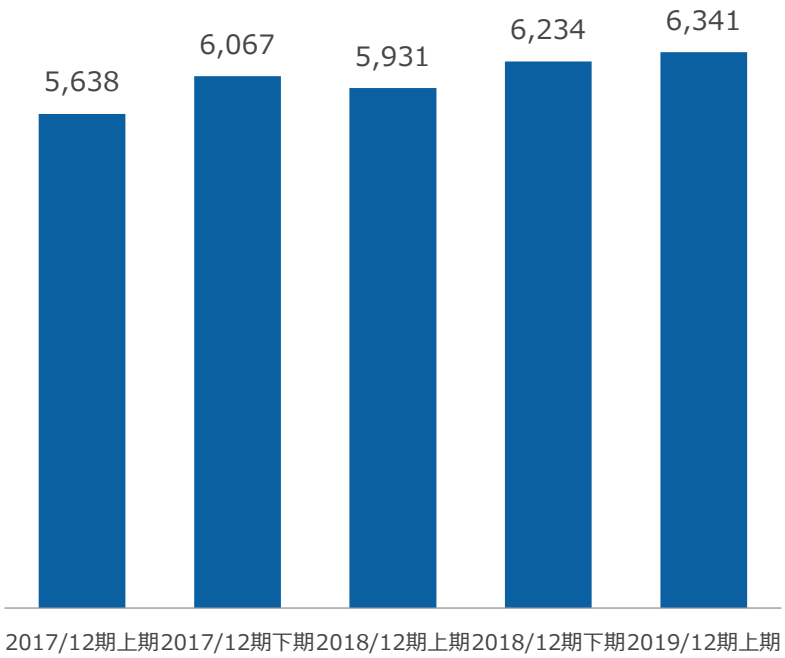
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

業績の推移（半期ベース）

■ 売上高、営業利益は堅調に推移しており、営業利益率は10%台後半をキープ

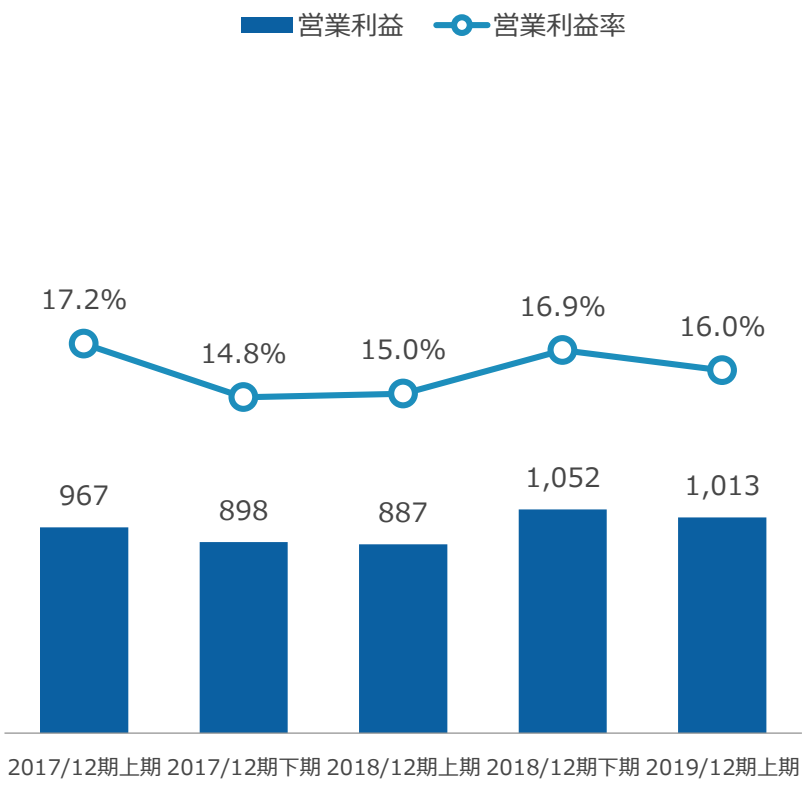
売上高の推移

（百万円）



営業利益及び同利益率の推移

（百万円）



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅱ

事業環境
&
2019/12期通期決算の見通し

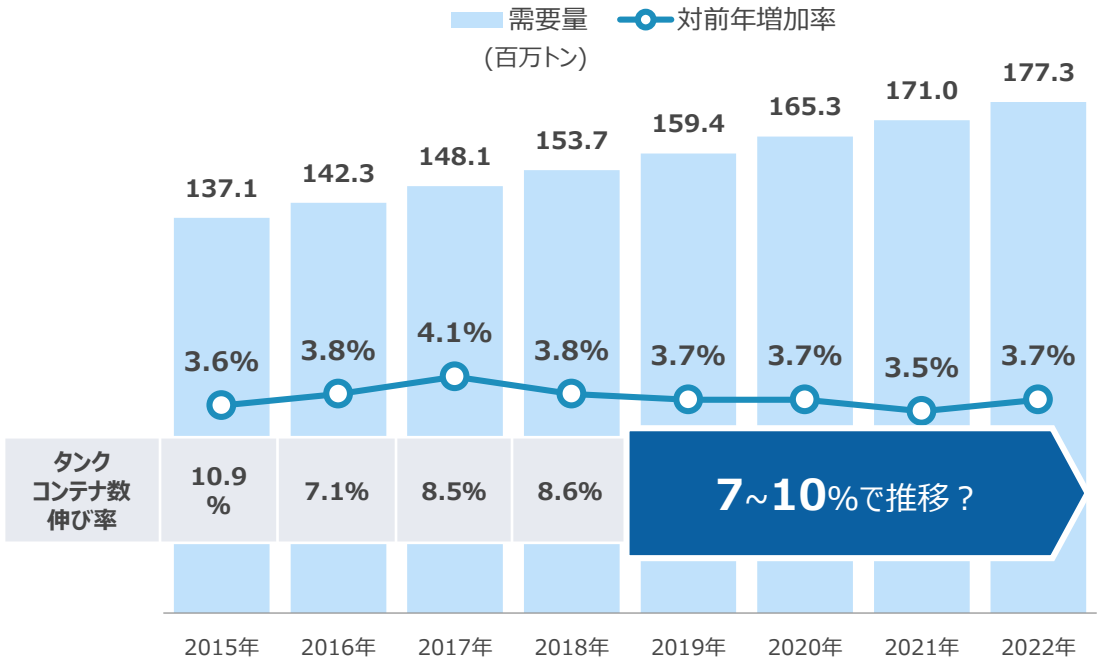
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

事業環境　タンクコンテナ需給見通し

■ 世界の*エチレン系誘導品の需要見通しは、2022年に向けて3%台後半の安定的な伸びが見込まれており、これまでの世界のタンクコンテナ総数の伸びを踏まえると、タンクコンテナ需要は引き続き順調な伸びが期待される

*エチレン系誘導品
ナフサを分解して得られるエチレンから生成される各種化学材料。高い強度と耐久性を備えた容器で厳重に管理しながら世界中に運ぶ必要があり、海陸一貫輸送できるタンクコンテナの主要な輸送貨物となる。

世界のエチレン系誘導品の需要見通しとタンクコンテナ数伸び率



(百万トン)	2016年⇒2022年			伸び率
世界	142.3	177.3	35.0	**3.7%**
アジア	67.1	90.3	23.2	**5.1%**
欧州	22.0	23.1	1.1	**0.8%**
北中南米	34.6	40.0	5.5	**2.5%**
中東	9.4	12.1	2.7	**4.3%**

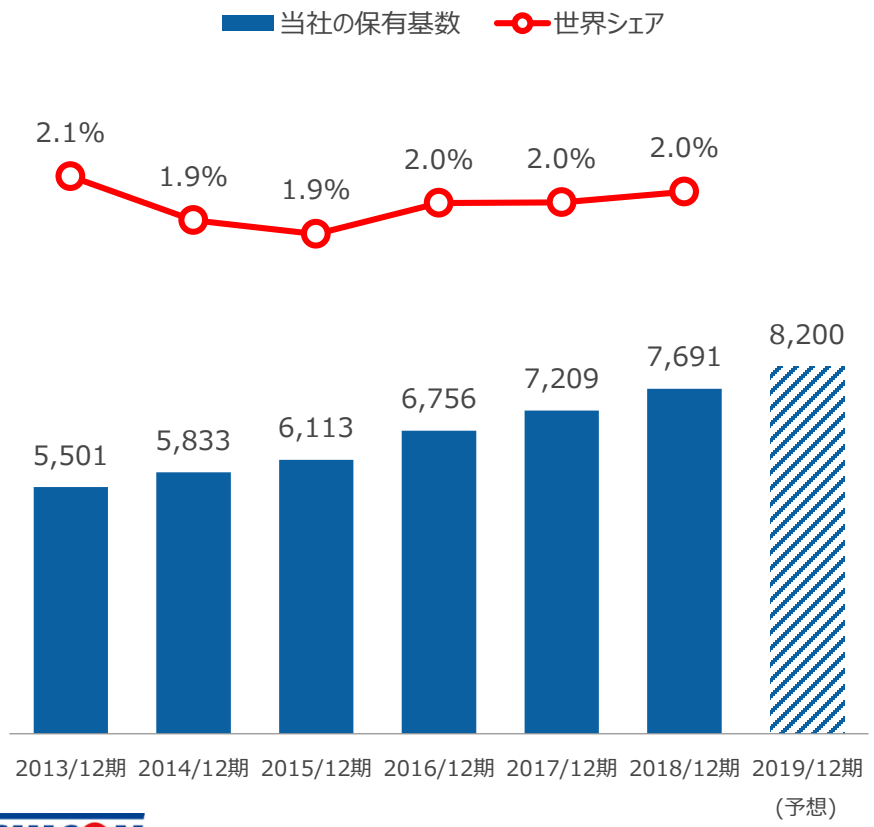
(出所)「世界の石油化学製品の今後の需給動向」(2018年10月経済産業省製造産業局素材産業課)

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

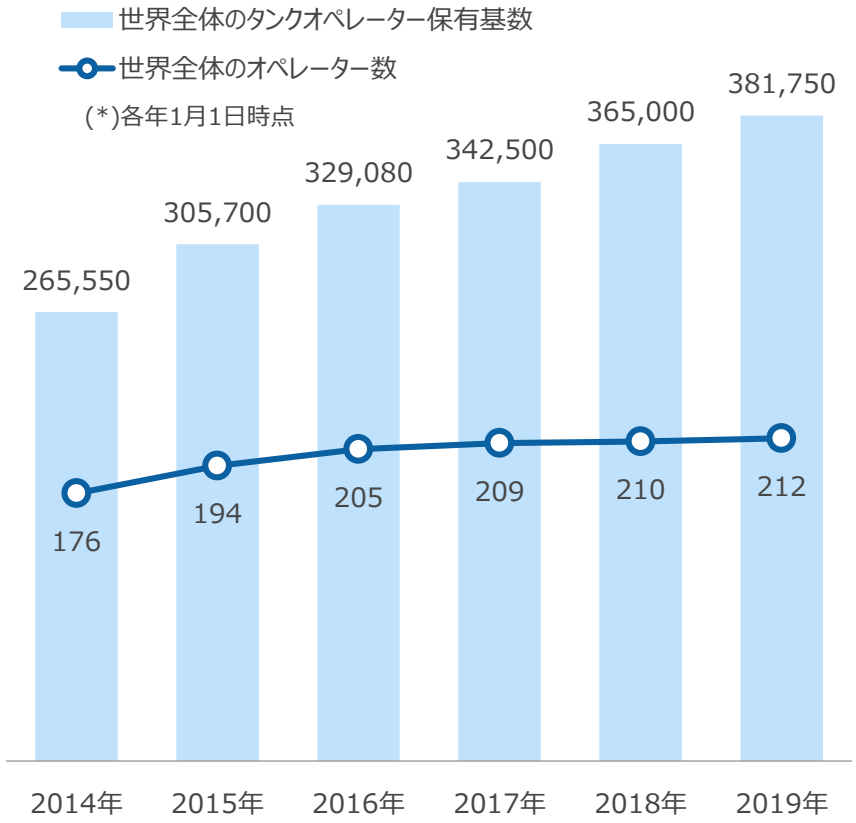
事業環境　タンクコンテナ保有基数、同世界シェアの推移

■ 世界全体のオペレーターのタンクコンテナ保有基数が2014年以降で約4割増となる中、当社も同様に約4割増やし、世界シェア2%程度をキープ

当社のタンクコンテナ保有基数及び世界シェアの推移



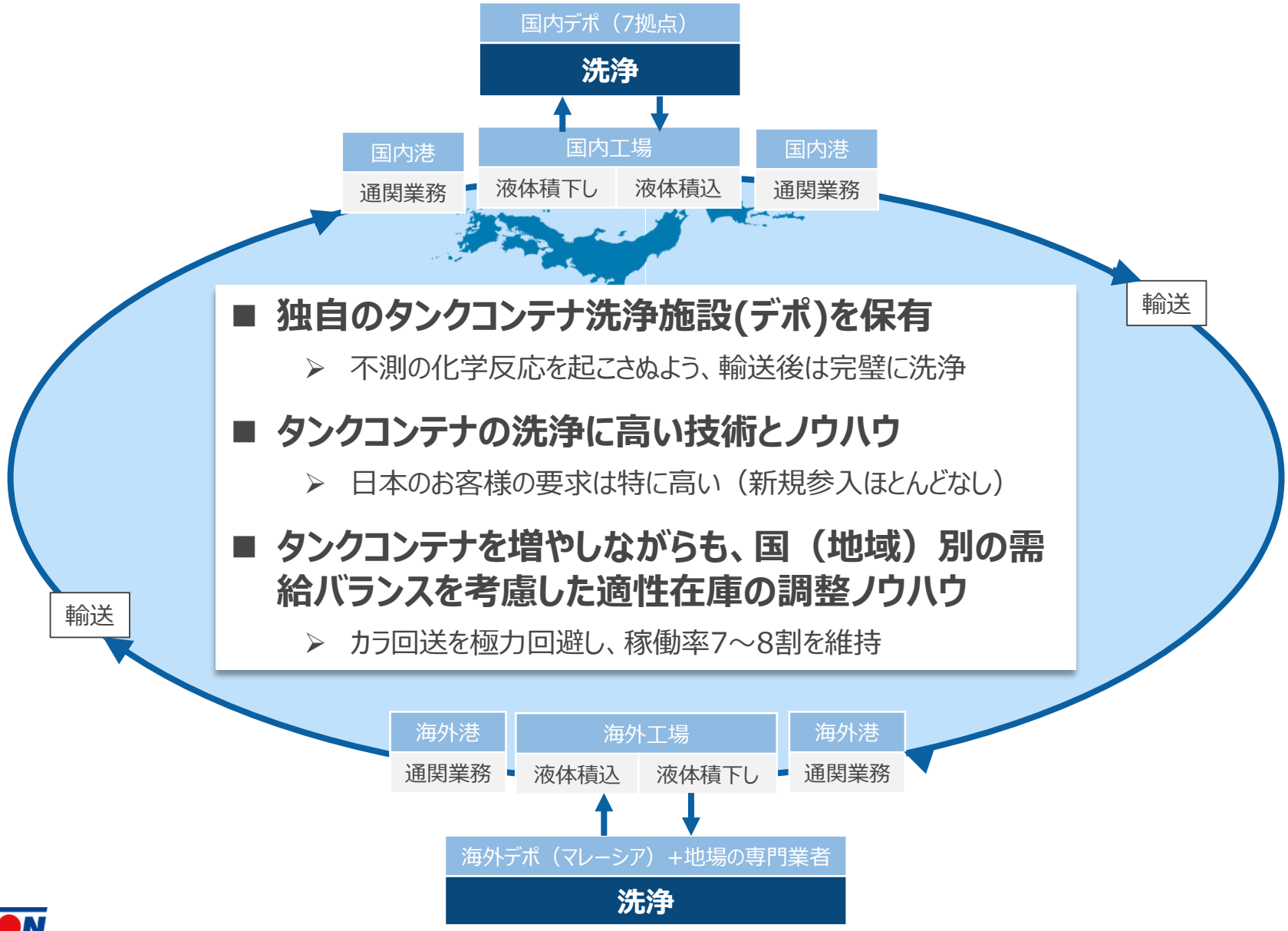
（ご参考）世界全体のタンクコンテナ保有基数等



(出所)ITCO Global Tank Container Fleet Survey 2019

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

当社のビジネスモデル



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

2019/12期決算見通し

■ ガスタンクコンテナ事業の本格化、タンクコンテナ保有基数の増強などにより、引き続き増収増益を見込む

（百万円）	2017/12期	2018/12期	**2019/12期 見通し**	**前期比**	**増減率**
売上高	11,705	12,165	**12,710**	+545	+4.5%
売上総利益	3,248	3,398	**3,547**	+149	+4.4%
営業利益	1,865	1,939	**1,985**	+46	+2.4%
経常利益	1,772	1,914	**1,950**	+36	+1.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,245	1,346	**1,349**	+3	+0.2%
売上総利益率	27.8%	27.9%	**27.9%**	±0.0pt	–
営業利益率	15.9%	15.9%	**15.6%**	▲0.3pt	–
経常利益率	15.1%	15.7%	**15.3%**	▲0.4pt	–
保有基数(期末)	7,209	7,691	**8,200**	+509	6.6%
稼働率(期中平均)	74.3%	77.4%	**–**	–	–
為替(対US$)	112.33円	110.53円	**109.00円**	1.53円高	1.4%高

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

営業利益の増減要因（想定）

■ 高圧ガス事業の進展による増収効果が寄与するものの、事業増強に向けた人財やシステムへの投資負担が嵩む

営業利益

19.39億円 (2018/12期) ▶ **19.85**億円 (2019/12期)

+0.46億円

- ✓ 高圧ガス事業の伸張
- ✓ 輸入取引増加に伴う保管や加温等の附帯サービスの増加

① 売上総利益の増加（増収効果）：+1.48億円

② 販管費増：▲1.02億円

- ✓ 人件費の増加
- ✓ 新システム稼動に伴う減価償却費の増加

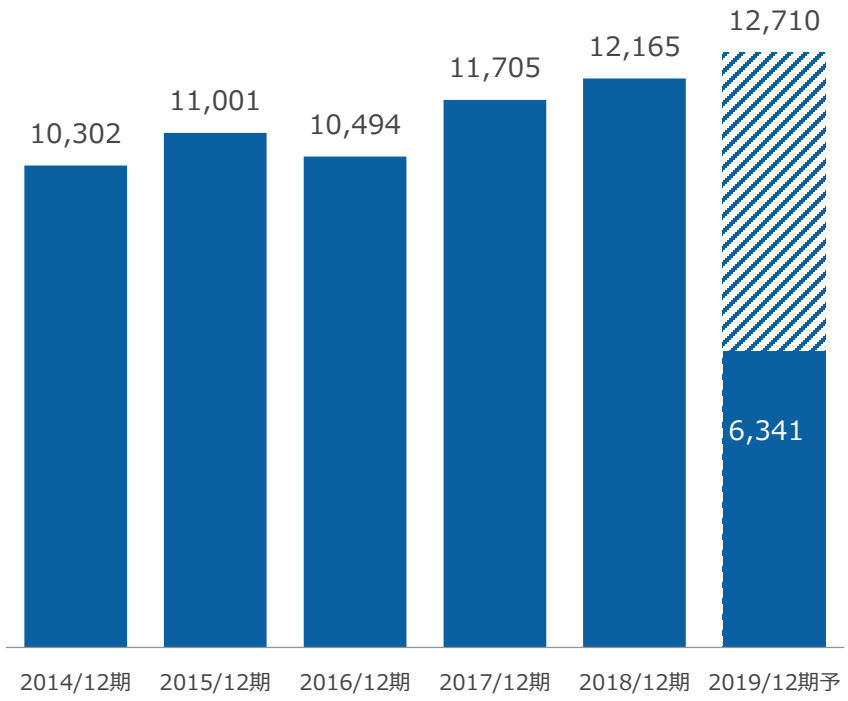
© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

中期業績推移

- 売上高は3期連続の増収で過去最高を更新する見通し
- 営業利益も3期連続の増益で同利益率は15%以上を維持する見込み

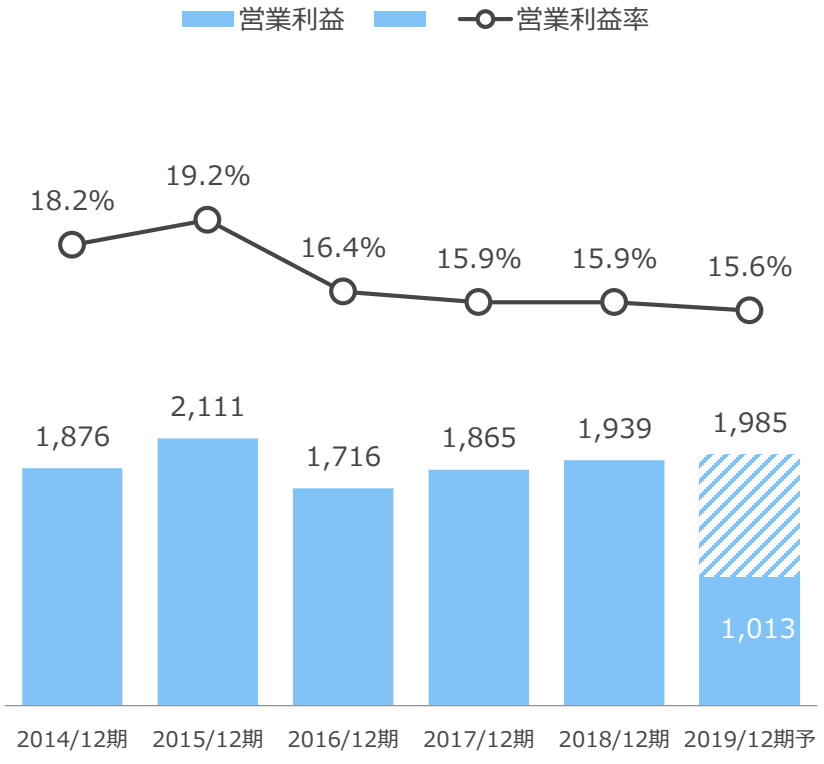
売上高の推移

（百万円）



営業利益及び同利益率の推移

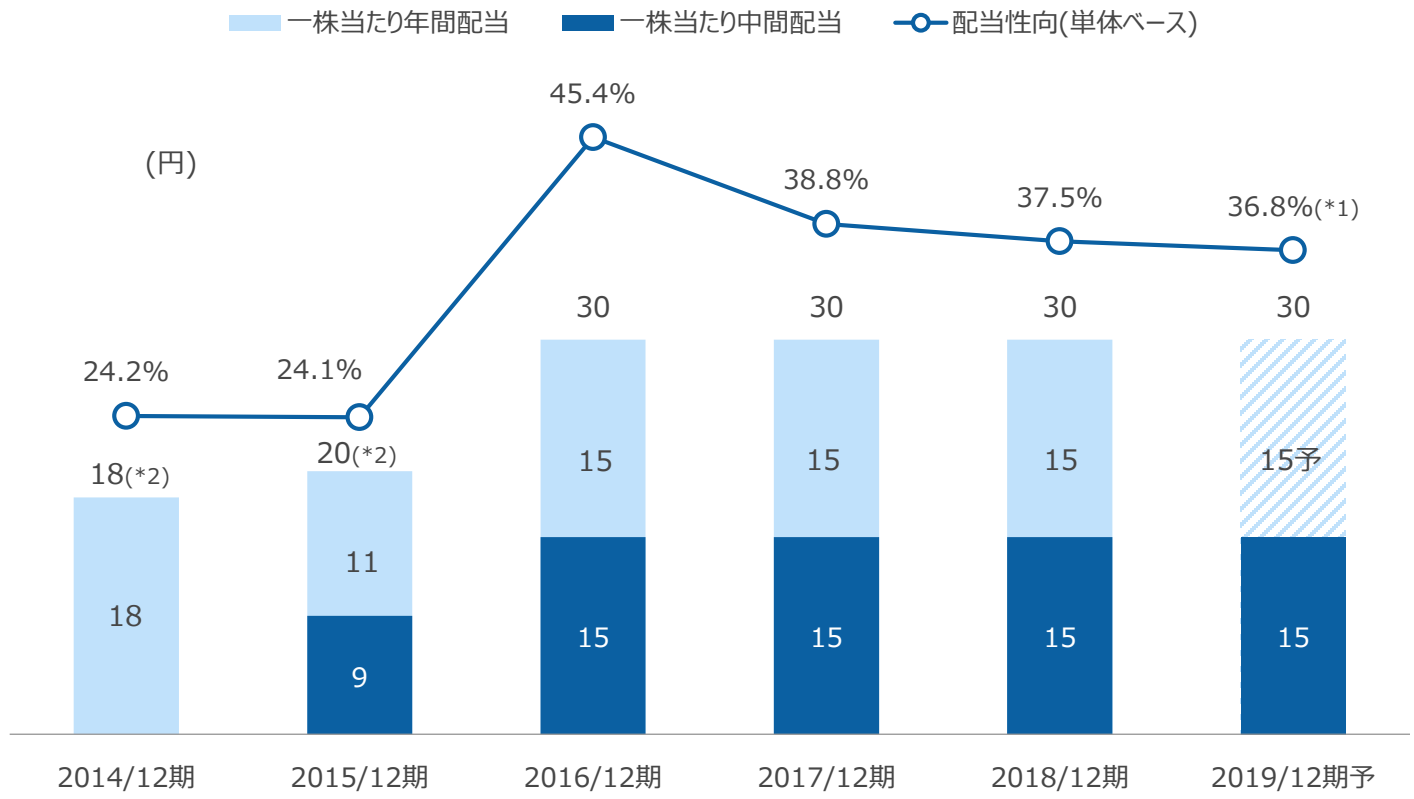
（百万円）



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

株主還元方針

- 2019/12期の一株当たり配当金は30円に据え置き（中間15円、期末15円）の方針
- 配当性向は30%台後半をキープ



*1：当期純利益(単体)は1,130百万円を見込む
*2：2015年10月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を実施。2015/12期の中間配当以前については、当該株式分割を考慮して計算。
実際の配当額は2014/12期54円、2015/12期は上期は27円、下期は11円

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅲ

中期経営計画の進捗状況

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

中期経営計画の進捗状況のポイント

1 高圧ガス事業が着実に拡大

2 メキシコ向けサービス開始

商船三井との資本業務提携の成果

3 ケミカルタンカー輸送からタンクコンテナ輸送へのシフトを推進

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

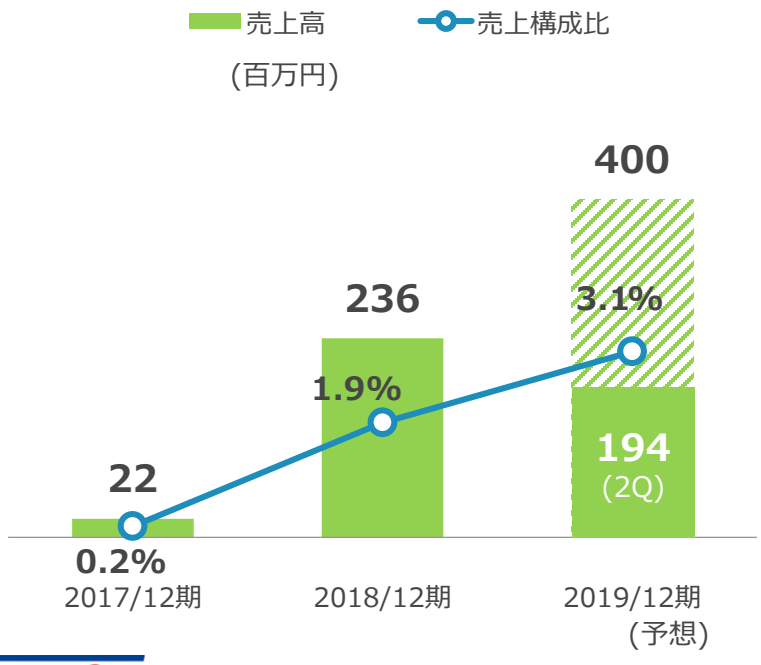
ガスタンクコンテナ事業の拡大

地球環境を守るビジネスとして、環境破壊の確実な防止を図る

- ガスタンクコンテナを利用した高圧ガス(フロンガス等)保管・回収・再生・破壊を一貫して提供
- 2019/12期2Q売上高は194百万円となった。通期で前期比約70%増の400百万円を見込む

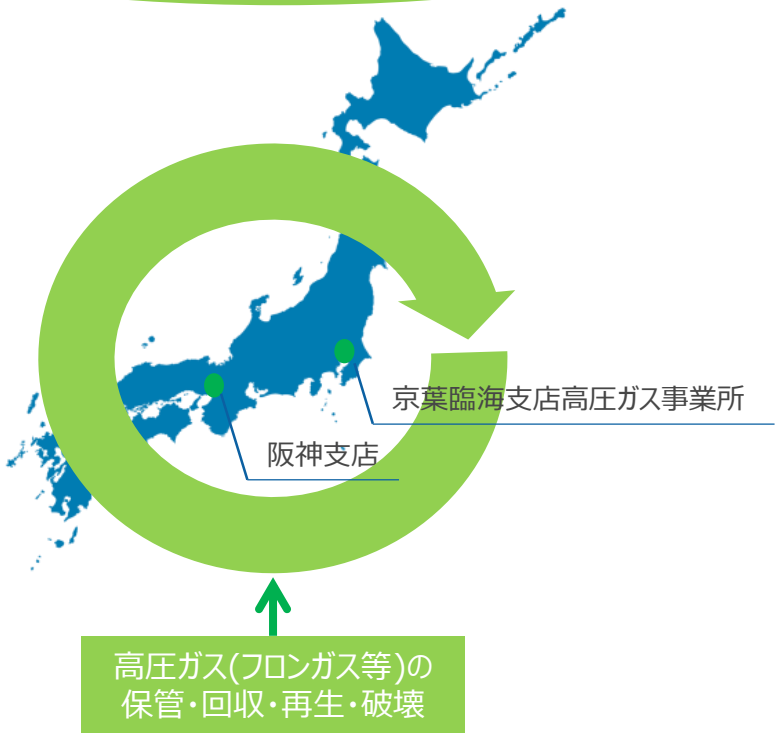
ガスタンクコンテナ事業　売上実績

通期でほぼ倍増ペース



ガスタンクコンテナ事業

阪神に破壊設備構築中



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

メキシコ向けサービス開始（2019年6月）

■ メキシコにおける当社の総代理店業務を、商船三井ロジスティクス株式会社のメキシコ現地法人“MOL Logistics Mexico社”に委託

趣旨・目的	◆ 中南米におけるロジスティクス拡充の第一歩 ◆ 国際サービス網の更なる充実 ◆ 商船三井との資本業務提携の成果
サービス内容	◆ メキシコ向けの輸出、メキシコからの輸入、メキシコ国内の通関・内陸輸送サービスの提供
海外拠点網	◆ 代理店網は世界14カ国に拡大 5現地法人＋14代理店のグローバルネットワーク

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

（ご参考）商船三井との協業体制

- 商船三井との資本業務提携の一環として、メキシコ向けサービス開始（ｐ.21ご参照）
- その他の地域・案件での協業体制の構築も推進中



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

（ご参考）中期経営計画　基本方針

地球環境を守るタンクコンテナを活かしつつ
安定した成長を通じて経営基盤を一段と強化する

1. **環境に適した**繰り返し使用可能なタンクコンテナを利用し、日本の物流革命を一段と推進する
2. **環境に優しい**タンクコンテナを活かすために構築したネットワークを活用し、ビジネスの更なる取り込みを図る
3. 当社独自のビジネスモデルを広く展開し、ガスコンテナビジネスを着実に拡大する
4. 資本業務提携を結ぶ商船三井との協業体制を一段と強化し、新たなフロンティアを開拓する

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

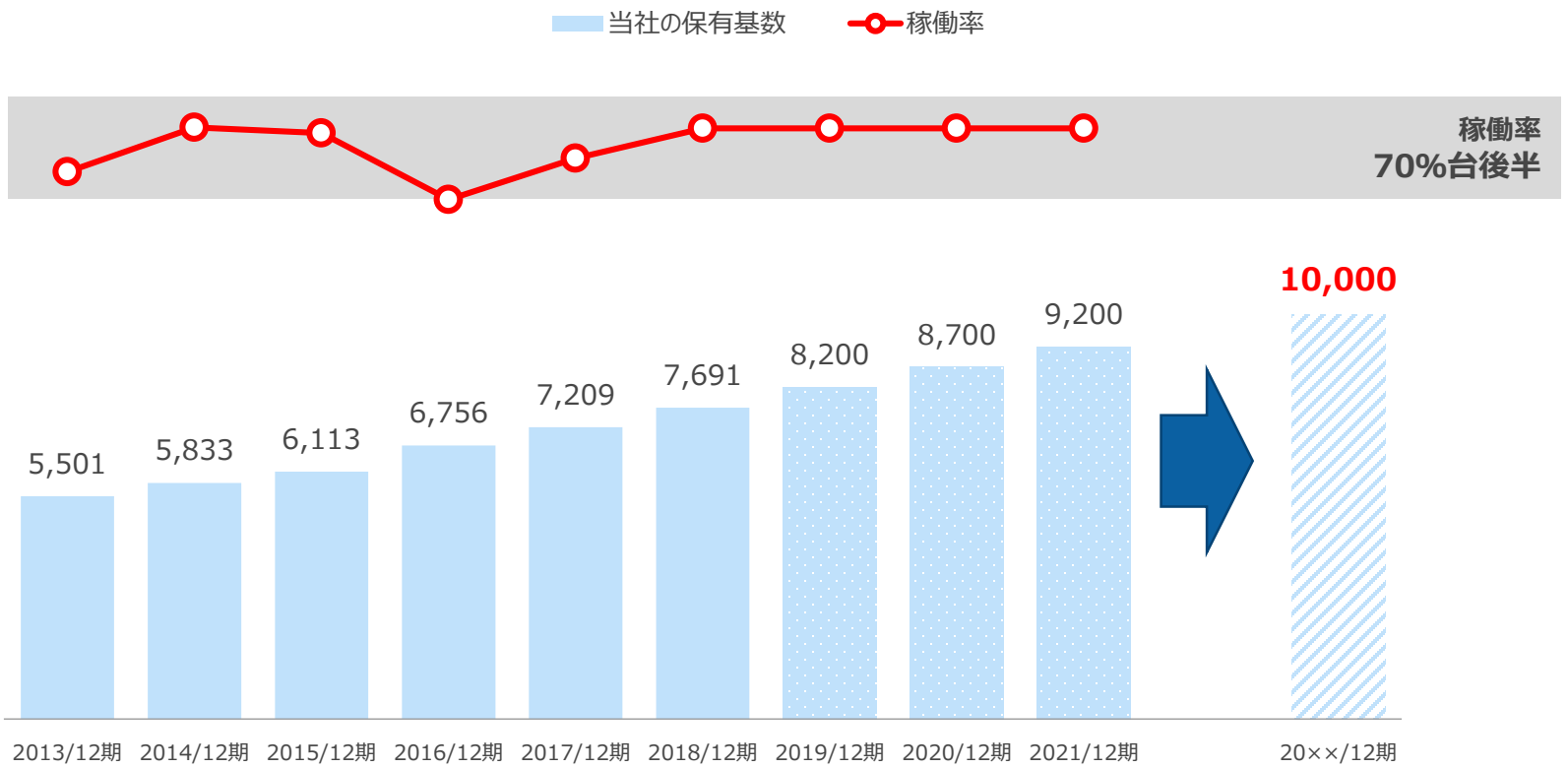
（ご参考）中期経営計画　定量目標

	2018/12期		計画最終年度 2021/12期
売上高	121.6億円	→	**141.5**億円
営業利益	19.3億円	→	**22.0**億円
経常利益	19.1億円	→	**21.7**億円
一株当たり当期純利益	98.0円	→	**108.45**円

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

（ご参考）中期経営計画　ケミカル関連ビジネスの拡充

- 競争力強化に向けて保有基数の増大を図りつつ、稼働率も70%台後半を維持
- 効率的な輸送を展開しつつ、輸送量の増加に見合った適量・適切な調達を目指す



＜新規調達計画＞	2019/12期	2020/12期	2021/12期
調達基数(概算)	500	500	500

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

（ご参考）中期経営計画　国内ビジネスの拡大

■ 国内主要工業地帯を始めとして、全国各地に物流サービスを提供



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

Ⅳ

APPENDIX

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

モーダルシフトに適合するタンクコンテナ

- ※ISO規格に基づく高い強度と耐久性を備え、危険物を一般の貨物と同様に海陸一貫した輸送が可能
- 長期間の反復利用が可能なため、貨物の納入後に輸送容器を処分する必要がなく、廃棄物も最小限に
- 洗浄作業も、残液の厳格な処理を行うことができる信頼性の高い施設で実施

※ISO：International Organization for Standardization(国際標準化機構)の略

タンクの反復利用が可能



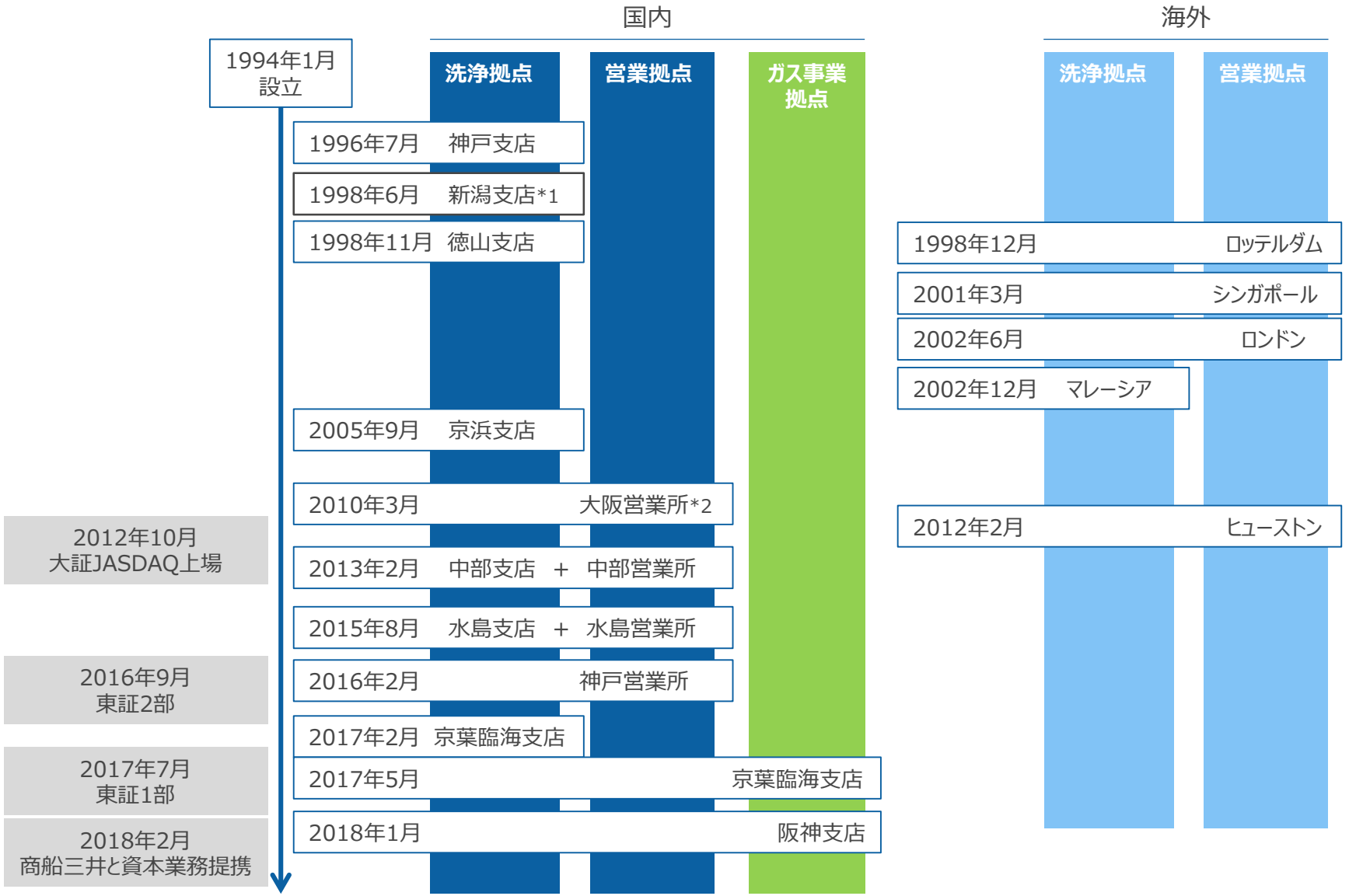
移動・保管が簡単でエコ





© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

沿革



*1：現出張所、*2：神戸営業所に統合

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

会社概要

社名	日本コンセプト株式会社
設立	1994年1月6日
所在地	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル8階
代表取締役社長	松元　孝義
資本金	1,134,781,750円（2018年12月末時点）
上場市場	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100（株）
決算期	12月
子会社	6社
従業員数	184名（連結：2018年12月末時点）



© NIPPON CONCEPT CORPORATION.

見通しに関する注意事項

**当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。**

＜お問い合わせ先＞
広報部　IR担当
03-3507-8812
inquiry@n-concept.co.jp

© NIPPON CONCEPT CORPORATION.